

報恩寺だより

昭和49年1月1日

神奈川県高座郡綾瀬町寺尾889

おたすけ観音 報恩寺

電話 0467-78-0081 ナー252

新年おめでとう御座居ます。昨年の暮には、石油問題に関連して、家庭生活にも影響を受けましたが、昭和49年には、自分の生活に於て、不意の危機に見舞われても、自分を見失しな^をってしまわぬように、自己の本来の姿を見守りながら生活する事、心に他の人^を尊重する仏心を抱いて生活をして行く事が特に必要だと思ひます。

今年は先住洞源和尚の23回忌に当りますので、8月7日の御施餓鬼に法要を行う予定ですが、先任は時に観音様を沢山害かれ、石像も多数彫刻されましたが、23回忌の年に当り小山田太郎殿、早川敏雄殿、齋藤真一殿により、総高一丈の聖観音銅像を寄付頂きました事は、有難き因縁と感謝いたしております。

銅像の観音様の御頭の中へは、洞源和尚の自筆の聖観音の掛軸と、洞源和尚が僧堂で修行中に誓った梵網経（戒律のお経）の巻本を納経いたしました。梵網経は禅師様の随行長になるまで預って下さいと法友に渡してあったものを、先任の葬儀の時覚知県小牧市の、その方から「禅師様の随行長（お扱戒等で出張される時の最高責任者の布教師）になられた時にお返しするのが遅れました。」と頂いた経巻でした。

又裏山の杉が公害のため枯れて最後の18本を切ったので、跡地を整地して、以前のように観音様の石像を安置し、兼ねて町内の宅造によって亡ぶ恐れのある草を集めて野草園を小規模に作る予定です。

金毘羅様は220年前、当山13世の代に創立され、毎月10日には小瀬芝原、茅ヶ崎、夢川、大和の人達が太勢お参りに来られて、柏木芳衛氏の先祖の方は参詣者を対家に商店を開いて、大いに繁昌し、その御礼に金毘羅様の石段、石壘、鳥居を改修された事が伝承され、石碑もある。柏木氏の屋号は「みせ」といわれております。この金毘羅堂は昭和32年に台風により倒

壊した為現在の地に青少年のスポーツの場として卓球場も兼ねて再建してありますが、今回旧境内へ、奥ノ院として小さな御堂を建て、昔の石壘も利用して復旧いたしました。高速道路の「東名綾瀬」の北側の道や、芝原からの道大和、夢川からの柏木行雄氏の前の道を各々金毘羅道と呼んでいました。

◎ 特別御寄進

特別寄進